

自動車の将来とエラストマーの課題と展開

主 催：日本ゴム協会

協 賛：日本化学工業協会，日本ゴム工業会，日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，
(依頼中) 日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本接着学会，日本複合材料学会，
プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会，
日本金型工業会（順不同）

第42回夏期講座を来る7月20日(木)～21日(金)の2日間にわたり，東海支部の協力のもと名古屋市の名古屋国際会議場において開催いたします。皆様方には奮ってご参加のうえ，今後の研究・開発にお役立ていただければ幸いです。

日 時：平成18年7月20日(木)～21日(金)

場 所：名古屋国際会議場 展示室212号室（名古屋市熱田区熱田西町1-1 TEL. 052-683-7711）

定 員：70名（定員になり次第締切ります）

受講料：（6月30日(金)まで）会員 26,250円，会員外 42,000円，学生 7,350円
（7月1日(土)以降）会員 31,500円，会員外 42,000円，学生 10,500円
※ 含消費税，テキスト代。賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱い

ミキサー参加料 5,000円（一律 含消費税）

申込方法：申込書にご記入のうえ，FAXまたはEメールにてお申込みください。

送金方法：現金書留又は銀行振込（三井住友銀行日比谷支店 普通No.7100847 社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。いったんご入金いただきました受講料は，返金いたしかねますので，あらかじめご了承ください。領収証が必要な方は申込書欄外にその旨お書き添えください。開催日が近づきましたら，開催に関するご案内を発送いたします。

申 込 先：社団法人 日本ゴム協会 第42回夏期講座係（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階
FAX. 03(3401)4143 TEL. 03(3401)2957 E-mail nakagawa@srij.or.jp）

プログラム

	演 題	講 師
7月20日(木)		
10:00～10:10	開会のあいさつ	社団法人日本ゴム協会 会長 井上 隆
	【自動車をターゲットとした先端材料】	
10:10～11:10	タイヤ用材料の最前線 (概要) 自動車タイヤへの要求は安全性の一層の向上，燃費を含めた環境への対応，新たな快適性の提案・提供と，高度化してきている。その中で材料技術も進展を見せており，その動向を紹介してゆく。	(株)ブリヂストン 小澤 洋一氏
11:10～12:10	オレフィン系熱可塑性エラストマーの構造と物性及び最近の開発動向について (概要) 近年，オレフィン系熱可塑エラストマーの中でも，特に動的架橋タイプ(TPV)は，リサイクル可能であり，かつ弾性体としての性能に優れる事から自動車用途を中心に広く使用されている。TPVの構造と物性の関係及び最近の開発動向について説明する。	JSR(株) 森川 明彦氏
	【自動車の動向】	
13:00～14:00	自動車ゴム部品の信頼性 (概要) 自動車の長寿命化の要となるゴム部品の耐久性向上に必要な劣化寿命解析とその対策を述べる。	東京工業大学 有機高分子材料 中内 秀雄氏
14:00～15:00	自動車用燃料の過去・現在・未来 (概要) 自動車用燃料としての石油の役割についてその歴史と展望を概説する。	出光興産(株) 富山 俊男氏
15:10～16:10	自動車用材料の研究開発動向 (概要) Sustainable Mobility 社会実現に向けた，CO ₂ 削減を中心とした対応に関して，軽量化やフリクション低減技術，またハイブリッド自動車への取組みについて，材料開発の観点から概要を紹介する。	トヨタ自動車(株) 鈴木 茂樹氏
	【特別講演】	
16:20～17:30	万博の変容―「愛・地球博」の成果と評価 (概要) 愛・地球博の成果を紹介しつつ，新たな万博のモデルを示したとの評価を検証する。	(財)2005年日本国際博覧会協会 審議役 山田 宗範氏
18:00～19:30	ミキサー	

7月21日(金)

【部品造り込み技術】

- 9:20～10:20 **EPDM スポンジゴム物性に及ぼす混練状態の影響** 三井化学(株) 仲濱 秀斉氏
 (概要) スポンジの物性は架橋密度に依存する, 新しい分析法を適用し, スポンジゴムの混練状態を粘弾性手法で特定し, その物理量が及ぼす影響をスポンジ架橋密度の変化で考察する.
- 10:20～11:20 **ゴムの連続混練技術** (株)神戸製鋼所 井上 公雄氏
 (概要) ポリマー混練装置の構造・特長・技術動向およびゴムの連続混練への応用事例を紹介する.
- 11:30～12:30 **超臨界炭酸ガスを用いたゴムの発泡成形プロセス** 金沢工業大学工学部 教授 新保 實氏
 (概要) 超臨界炭酸ガスを用いたシリコンゴムの発泡成形プロセスについて説明する.

【自動車部品を支える基盤評価技術】

- 13:20～14:20 **高分子材料の劣化評価技術** (株)豊田中央研究所 杉浦 元保氏
 (概要) 高分子材料の深さ方向への劣化分布が評価できる傾斜切削-IR法と誘導体化-XMA法を紹介する.
- 14:20～15:20 **タイヤの摩擦のシミュレーション** (財)日本自動車研究所 山崎 俊一氏
 (概要) 自動車の制動性能について, タイヤ特性を変えて述べる. タイヤ特性としてタイヤ構造について着目し, ABS自動車との関係を詳しく述べる.
- 15:30～16:30 **高齢社会に向けた自動車技術** 名城大学理工学部 教授 津川 定之氏
 (概要) 高齢ドライバーの特性, 交通事故の状況, 高齢ドライバーのための運転支援システムを紹介する.
- 16:30～16:40 閉会のあいさつ 第42回夏期講座運営委員長 竹内 勝政

〈第42回夏期講座申込書〉 所定事項記入のうえ, FAXまたはメールにてお申込みください.

FAX 03(3401)4143 E-mail: nakagawa@srij.or.jp

参加者名	担当者名 (所属)		
連絡先住所 〒 -			
(必ず住所をご記載ください)			
会社名	所属部署		
TEL ()	FAX ()		
E-mail			
受 講 料	ミキサー参加料	合 計*	備 考
期限内(6月30日(金)まで) <input type="checkbox"/> 正会員 26,250円 <input type="checkbox"/> 賛助会員 26,250円 <input type="checkbox"/> 協賛会員 26,250円 (団体名) <input type="checkbox"/> 学生会員 7,350円 <input type="checkbox"/> 会員外 42,000円	<input type="checkbox"/> 5,000円	_____円	
期限後(7月1日(土)以降) <input type="checkbox"/> 正会員 31,500円 <input type="checkbox"/> 賛助会員 31,500円 <input type="checkbox"/> 協賛会員 31,500円 (団体名) <input type="checkbox"/> 学生会員 10,500円 <input type="checkbox"/> 会員外 42,000円			

印は✓印を付すること。 *印は該当欄合計金額を記入してください。

送金方法 月 日頃振込み予定 請求書 要 不要